

# 先週の回答



「人生は旅。したがって人間は旅人なんてほざく族(やから)がいるが、その通り」

「ド! ずっこけるぼく。」

「長い一生には山あり谷あり、ラクあればクありなんて訳知り顔で知ったかぶりする奴がいるが、その通り」

「再びド! ずっこけるぼく。」

「そのとおりなんですか、そうじゃないんですか!」

「だから、その通りと言っとるだろー、さつきから。林葉直子がいいお手本だ」

「つて、あの女性棋士の? セーラー服でプロ棋士になった」

「彼女の今を知っとるか」

「知りません」

「だったら黙って聞け」

「」

「彼女は十一歳で女流アマ名人戦に優勝。小学校在学中に米長邦雄永世棋聖宅の内弟子になり、翌年女流2級でプロ入り。十四歳で初タイトルの女流王将となり、女流王将戦十連覇を成し上げた天才少女。ここまでの彼女の旅は順風満帆と思わんか?」

「」

「ぼく。」

「それが1994年(彼女二十四歳のとき)突如対局をストップかし、翌年将棋連盟を追われる。当時の段位は女流五段だった。その後、両親の数十億の借金返済や、写真集にヘアヌードを発表したり、インド料理店を経営したり、タロット占い師などを経て、2006年自己破産。それでも2010年公式棋戦に特別推薦で対局するも女流初段に74手で敗北。2014年肝硬変を告白。どうだ、この人生の暗転は」

「」

「じつは住み込みしていた当時、子供だった彼女は師匠の米長に犯されたのである。今だったら完全な淫行。この永世棋聖の米長邦雄という男は、教育委員など数々の要職を歴任し、天皇陛下にも謁見し勲章まで授与されたが、稀に見る女狂いだっただのこと。さらに、十六世人の中原誠との不倫も公表。中原名人が彼女の自宅留守電に残したメッセージ『もしもし、私は林葉直子の愛人でしたっー』ことを週刊誌に売りますよー』が暴露され話題になったことを覚えておられる?」

「」

「将棋界の色ボケ棋聖と名人に幼い肉体をもてあそばされ、将棋界から追放され、末期の肝硬変にもかかわらず、大量の飲酒におぼれ(ワイルドターキー一日一本空ける)、ガリガリの老女になった彼女を見て、まさに人生という旅路の果ての姿と思わんか」

「」

「ぼく。」



# 今週の問題



□の中に漢字を埋めて  
四字熟語を完成させてください。